

🌸 品詞に気をつけて単語を暗記しましょう

英語の勉強で一番つらいのが、英単語・熟語の暗記ではないでしょうか。暗記が得意な人なんていません。だからこそ、いろいろと工夫して暗記するようにしましょう。

脳は刺激すればするほど強い印象が残るので、英単語・熟語を忘れにくくなります。ですから、英単語を暗記するときには、できるだけ声に出したり、手を動かして書いてみたりしましょう。

また、暗記は時間よりも集中力が大切。机に座って堅苦しく長々とやるよりも、電車の中の15分間や畳の上でコロコロしているときのほうが単語をたくさん暗記できたりするものです。暗記は自分に合った場所や方法で行い、形式よりも能率を重視しましょう。

また、単語を暗記するときには、**品詞**に気をつけるように心がけましょう。例えばこの問題を見てください。

(Despite / Although) it was raining, he went out.

(雨にもかかわらず、彼は外出した。)

答えは Although です。「かかわらず」という日本語につられて、Despite を選んだ人も多いと思いますが、despite は直後に名詞をとる**前置詞**です。ここでは it was raining という、「節」が後ろにきていますね。だから、**接続詞**の Although が正解なのです。

このように、英文法問題で点数をとるためには、ただ日本語の意味を詰め込み暗記するだけではなく、例文の中で品詞に注意して単語を記憶することが重要です。



LEVEL-3
STAGE 2

ENGLISH GRAMMAR WORKBOOK
STEP BY STEP

第4章 動名詞

第5章 分詞

第6章 分詞構文

動名詞

▶ 動名詞とは、動詞を ing 形にして名詞の働きをさせる用法のことです。もちろん名詞の働きをするわけですから、主語、目的語、補語はもちろん、前置詞の後ろにくる名詞などにも使うことができます。

1 to Ving の熟語

問 I can't get used to in the big city.

- ① live ② lived ③ living ④ be living

[北海道大 (経)]

この熟語 **get used to Ving** (V するのに慣れる) の to は不定詞ではなく前置詞なので、直後には名詞の働きをする動名詞がこなければなりません。

解答⇒ 3 (訳：私は大都市に住むのに慣れることができない。)

- | | |
|--|---------------------|
| <input type="checkbox"/> get [be] used to Ving | ▶ V するのに慣れる [慣れている] |
| <input type="checkbox"/> look forward to Ving | ▶ V するのを楽しみに待つ |
| <input type="checkbox"/> object to Ving | ▶ V することに反対する |
| <input type="checkbox"/> What do you say to Ving ? | ▶ V しませんか |
| <input type="checkbox"/> when it comes to Ving | ▶ V することになると |
| <input type="checkbox"/> with a view to Ving | ▶ V する目的で |

2 動名詞のみを目的語にとる動詞

問 Have you finished a letter to your friend?

- ① of writing ② to write ③ writing ④ write

[名古屋学院大 (経済・外国語)]

動詞によって不定詞または動名詞だけを目的語にとったり、両方とも目的語にとれたり、さまざまな制約があります。ここでは、動名詞のみを目的語にとる動詞なので、答えは③ writing となります。ここでは、動名詞のみを目的語にとる動詞をまとめて覚えておくこと。これは「マガフエブスダツパム (MAGAFEPSDAPAM)」と頭文字でつなげると覚えやすいでしょう。

解答⇒ 3 (訳：友達への手紙を書き終えましたか。)

- | | | | |
|--|----------------|--|---------------|
| <input type="checkbox"/> M mind Ving | ▶ V することを気にする | <input type="checkbox"/> S suggest Ving | ▶ V することを提案する |
| <input type="checkbox"/> E enjoy Ving | ▶ V することを楽しむ | <input type="checkbox"/> D deny Ving | ▶ V することを否定する |
| <input type="checkbox"/> G give up Ving | ▶ V することをあきらめる | <input type="checkbox"/> A admit Ving | ▶ V することを認める |
| <input type="checkbox"/> A avoid Ving | ▶ V することを避ける | <input type="checkbox"/> P practice Ving | ▶ V する練習をする |
| <input type="checkbox"/> F finish Ving | ▶ V し終える | <input type="checkbox"/> A advise Ving | ▶ V することを忠告する |
| <input type="checkbox"/> E escape Ving | ▶ V するのを逃げる | <input type="checkbox"/> M miss Ving | ▶ V しそこなう |
| <input type="checkbox"/> P postpone Ving | ▶ V するのを延期する | * advise ~ to V (~に V するよう忠告する) という形にも注意 | |

3 目的語が不定詞か動名詞かで意味の変わる動詞

問 Don't forget off the gas before you leave the house.

- ① turn ② to turn ③ to turning ④ turned

[英検準 2 級]

もともと、不定詞には未来的な意味合い、動名詞には過去の意味合いがあります。ここでは「(未来に) ガスを消すのを忘れてはならない」と言っているため、未来的な意味合いをもった② to turn の不定詞を選びましょう。

解答⇒ 2 (訳：家を出る前にガスを消すのを忘れないでね。)

- | | | | |
|--------------------------------------|--------------|--|---------------|
| <input type="checkbox"/> forget to V | ▶ V し忘れる | <input type="checkbox"/> remember to V | ▶ 忘れずに V する |
| forget Ving | ▶ V したのを忘れる | remember Ving | ▶ V したのを覚えている |
| <input type="checkbox"/> try to V | ▶ V しようとする | <input type="checkbox"/> regret to V | ▶ 残念ながら V する |
| try Ving | ▶ 試みに V してみる | regret Ving | ▶ V したのを後悔する |

■問1：次の英文の空欄に入れるのに最も適当なものを選び。

- 1 I always enjoy □1 to classical music when I have some free time.
 ① listening ② to listen
 ③ that I listen ④ in listening
 [センター試験]

- 2 There is a severe shortage of water in this city, so we must give up □2 a bath occasionally.
 ① take ② having ③ economize ④ out
 [名古屋工大(後)]

- 3 I usually avoid □3 to work during rush hours.
 ① travel ② to travel
 ③ traveling ④ traveled
 [北海道文理科短大<改>]

- 4 He narrowly escaped □4 run over.
 ① be ② being ③ to be ④ was
 [中京大]

- 5 The doctor told me □5 because of my health.
 ① not smoke ② not smoking
 ③ to stop smoking ④ to stop to smoke
 [中部大(工・経営情報)]
- 難
- 6 A: This bag is so heavy. Would you mind □6 it upstairs for me?
 B: Not at all, Linda.
 ① carry ② to carry
 ③ being carried ④ carrying
 [英検準2級]

- 1 私は暇なときはいつもクラシックの音楽を聴いて楽しんでいる。
 □1 ⇒ ① listening
 ▶ enjoy は後ろに動名詞をとり, enjoy Ving で「Vするのを楽しむ」という意味になります。このように後ろに不定詞ではなく動名詞をとると決まっている動詞(= MEGAFEPSPDAPAM と覚える)は, 正確に暗記しておきましょう。

- 2 この都市においては深刻な水不足があるので, 私たちは時々風呂に入るのを断念しなければならぬ。
 □2 ⇒ ② having
 ▶ give up Ving は「Vするのをあきらめる」という意味で, 不定詞ではなく必ず動名詞を使う表現です。正解は動名詞の ② having。

- 3 私は混雑時に通勤するのをいつも避けている。
 □3 ⇒ ③ traveling
 ▶ avoid という他動詞は, avoid Ving (Vするのを避ける) という形で, 必ず後ろに不定詞ではなく動名詞をとります。ここでは, 動名詞の ③ traveling が正解。

- 4 彼は危うく車にひかれるのをまぬがれた。
 □4 ⇒ ② being
 ▶ escape という他動詞は, 後ろに不定詞ではなく必ず動名詞をとります。ただし, 後ろの動名詞が受動態になることが普通で, escape being Vpp という形で使われることが多いです。ここでは受動態の動名詞の being Vpp の形を作るために ② being を選びましょう。

- 5 医者には私に, 健康のためにたばこをやめるように言った。
 □5 ⇒ ③ to stop smoking
 ▶ tell ~ to V は「~にVするように言う」という構文で, ここではさらに他動詞 stop の語法もわかっていなければ正解できません。stop Ving は「Vするのをやめる」という意味, stop to V は「止まってVする」という意味になります。医者は禁煙を勧めるわけですから, ③ が正解になります。

- 6 A: この鞆はとても重い。私のためにこれを上の階へ運んでくれないか。
 B: いいですよ, リンダ。
 □6 ⇒ ④ carrying
 ▶ mind は「気にする」という意味で, 後ろに動名詞をとる動詞。ここでは, Would you mind Ving? という形で「Vするのはいやですか」, すなわち「Vしてくれないか」という口語表現。Not at all. という答え方にも注意しましょう。

- 7 She admits □ 7 the ring.
 ① having taken
 ③ to have taken
 ② of having taken
 ④ for taking
〔自白学園女子短大〕

- 8 I regret □ 8 my time during the summer vacation.



- ① waste
 ③ to have waste
 ② to waste
 ④ having wasted
〔東京家政大〕

- 9 Have you ever tried □ 9 on the river?

- ① skate
 ③ to be skating
 ② skating
 ④ to have skated
〔京都産業大 (理)〕

- 10 She is always afraid of □ 10 mistakes.



- ① made
 ③ making
 ② make
 ④ to make
〔京都産業大 (経・理・工)〕

- 11 He doesn't like the idea of □ 11 part-time.

- ① my working
 ③ that I work
 ② for me to work
 ④ my work
〔大妻短大〕

- 12 My husband is an expert when it comes □ 12 Chinese food.

- ① to cook
 ③ of cooking
 ② to cooking
 ④ for cooking
〔東京電機大〕

- 7 彼女はその指輪をとったのを認めている。

□ 7 ⇒ ① having taken

▶ admit という他動詞は、後ろに必ず不定詞ではなく動名詞をとります。ここでは、「指輪をとった」のは「認める」よりも前のことです。ただの動名詞ではなく時制が1つ前のことを表す完了動名詞、つまり having Vpp という形を使わなくてはなりません。答えは ① having taken。

- 8 私は夏休み中、時間を無駄に過ごしてしまったことを悔んでいる。

□ 8 ⇒ ④ having wasted

▶ regret は、後ろに不定詞がくるか動名詞がくるかで意味が変わります。regret to V は「残念ながら V する」という意味、regret Ving、もしくは regret having Vpp という形は「V したことを後悔する」という意味になります。不定詞には未来的な、動名詞には過去の意味合いがあることをヒントにしましょう。

- 9 あなたは今までに川の上でスケートをやってみたことがありますか。

□ 9 ⇒ ② skating

▶ try という他動詞は、後ろに不定詞がくるか動名詞がくるかで意味が変わります。try to V は「V しようとする」の意味になり、try Ving では「V してみる」という意味になります。ここでは、スケートをやってみるわけですから、② skating が正解。

- 10 彼女はいつも間違いをおかすことを恐れている。

□ 10 ⇒ ③ making

▶ 前置詞の後ろには、必ず名詞の働きをするものが続きます。しかし、不定詞の名詞的用法は前置詞の後ろ、つまり前置詞の目的語としては使うことができます。前置詞の目的語は動名詞を使わなければならないので、③ making が正解。

- 11 彼は、私がアルバイトをするという考えが好きではありません。

□ 11 ⇒ ① my working

▶ 空所は of という前置詞の目的語になっているから、動名詞の ① my working を選びます。my という所有格の代名詞は、動名詞の意味の上での主語を表しているので、my working で「私が働くこと」という意味になります。

- 12 私の夫は中華料理となると専門家だ。

□ 12 ⇒ ② to cooking

▶ when it comes to Ving (V することとなれば) の to は前置詞ですから、後ろには不定詞ではなく動名詞がきます。これは、注意すべき熟語です。

- 13 Johnny moved to Spain just a few months ago, so he isn't used 13 Spanish yet.
- ① speaking ② to speak
③ to speaking ④ to be spoken
- [英検準2級]

- 14 I am looking forward to 14 you again.

- ① see ② seeing
③ saw ④ have seen
- [東海大 (文)]

- 15 We don't feel like 15 on such a hot day.

- ① working ② to work
③ to be working ④ to have worked
- [京都産業大 (理)]

- 16 Is her advice really worth 16 ?

- ① taking ② listening ③ caring ④ talking
- [四天王寺国際仏教大短大部]

- 17 All participants made great efforts in the Olympics. We cannot help 17 their efforts.

- ① admire ② admired
③ to admire ④ admiring
- [英検準2級<改>]

- 18 Bob was seventeen but had no trouble 18 for twenty.

- ① pass ② passed
③ passing ④ to pass
- [神田外語大 (英米*)]

- 13 ジョニーはほんの2、3ヶ月前にスペインに引っ越してきたので、まだスペイン語を話すのに慣れていない。

▶ 13 ⇒ ③ to speaking
▶ be used to Ving (Vするのに慣れている) は重要表現です。toが前置詞で、後ろのVingは動名詞です。used to V (かつてVしたものだ) や、be used to V (Vするために使われる) といったまぎらわしい表現にも注意すること。

- 14 もう一度あなたにお会いできるのを楽しみにしています。

▶ 14 ⇒ ② seeing
▶ look forward to Vingは「Vするのを楽しみに待つ」という意味で、前置詞の後ろに動名詞がきているのが特徴的な頻出熟語です。ここでは、不定詞と勘違いして① seeを選ばないように注意しましょう。

- 15 こんなに暑い日に私たちは働きたくはない。

▶ 15 ⇒ ① working
▶ feel like Vingは「Vしたい気持ち、Vしたい気がする」という、動名詞を使う慣用表現です。

- 16 彼女の助言は本当に聞く価値がありますか。

▶ 16 ⇒ ① taking
▶ be worth Vingは「Vする価値がある」という意味の構文。この構文では、Vingの後ろに主語を置いて文が成り立つような、不完全な形で文が終わっていないなければなりません。ここでは、主語のher adviceが後ろに続くことができます。① takingだけ。②・③・④だと、主語を続けるには前置詞が必要となります。

- 17 すべての参加者はオリンピックで非常に努力した。私たちは彼らの努力を賞賛せざるを得ない。

▶ 17 ⇒ ④ admiring
▶ cannot help Vingは「Vせざるを得ない」という意味の慣用表現で、これはcannot but Vやcannot help but Vの形にも書き換えることができます。

- 18 ボブは17歳だったが、20歳というにしても何ら問題はなかった。

▶ 18 ⇒ ③ passing
▶ have trouble (in) Vingは「Vするのに苦労する」という意味で、inを省略できることに注意しておくこと。これはhave difficulty (in) Vingに書き換えることもできます。pass for ~は「〜として通用する」の意味で、pass as ~ともいいます。

□ 19 I'm busy 19 for the next exam.

- ① to prepare ② about preparing
③ preparing ④ prepared

〔流通科学大 (情報科)〕

□ 20 There is 20 what will happen tomorrow.

- ① not telling ② not to tell
③ no telling ④ no tell

〔英検2級〕

■問2：次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

□ 21 21 Have you finished 2 to clean your room 3 upstairs 4 yet?

誤り = 21

〔桜美林短大〕

□ 22 22 Ever since I came back from 2 ski last week, I've been busy 3 working 4 on my new project.

誤り = 22

〔桜美林短大〕

□ 23 It 1 was clear 2 that Mr. Williams was 3 at least worth 4 to meet.

誤り = 23

〔明海大 (経)〕

□ 19 私は次の試験の準備に忙しい。

- 19] ⇒ 3 preparing
▶ be busy (in) Ving は「V するのに忙しい」という意味の熟語で、in を省略できることに注意しましょう。

□ 20 明日起こることはわからない。

- 20] ⇒ 3 no telling
▶ there is no Ving という表現は、「V することはできない」という意味の熟語表現で、it is impossible to V とも書き換えられます。There is no accounting for tastes. 「蓼食う虫も好きずき」ということわざも類出。なお、この文の tell は「わかる、判断できる」という意味です。

□ 21 あなたはもう上の階のあなたの部屋を掃除し終えましたか。

- 21] ⇒ 2 to clean → cleaning
▶ finish は、後ろに必ず動名詞をとる他動詞なので、ここでは to clean を cleaning に訂正しなければなりません。

□ 22 先週スキーから帰ってきて以来、私は新しい企画の仕事で忙しい。

- 22] ⇒ 2 ski → skiing
▶ 日本語では、「スキー」を名詞として使いますが、英語では ski は「スキーをする」という動詞です。名詞で「スキー」というスポーツ名を示すときには、skiing というふうに必ず ing 形にしなければなりません。ここでは、 2 ski を skiing に訂正する必要があります。

□ 23 ウイリアム氏は少なくとも会う価値のある人だということは明らかだった。

- 23] ⇒ 4 to meet → meeting
▶ worth は、後ろに動名詞や名詞が続く特殊な形容詞です。be worth Ving (V する価値がある) という形で覚えておくといでしょう。

■問3：日本文に合う英文になるように選択肢の語を並べかえ、空欄に入るものを選び。

- 24 私はロッキー山脈でスキーを楽しむためにカナダを訪れようと思っている。
I am [24] _____ [25] _____ in the Rockies.
① of ② visiting ③ skiing ④ to
⑤ Canada ⑥ enjoy ⑦ thinking

[桜美林短大<改>]

- 25 あの湖を見ると、君は必ずその美しさに心を打たれます。

- ◆ You [26] _____ [27] _____ by its beauty.
① impressed ② never ③ see ④ being
⑤ without ⑥ the lake

[京都学園大]

- 26 給料が安いため、彼は彼女と結婚できない。

- ★ [28] _____ [29] _____
① prevents ② salary ③ from ④ him
⑤ low ⑥ marrying ⑦ his ⑧ her

[梅花女子大 (英米文)]

- 27 そのことで田中氏と議論しても無駄だ。

- [30] _____ [31] _____ about it.
① is ② use ③ Mr. Tanaka ④ it
⑤ arguing ⑥ no ⑦ with

[梅花女子大 (英米文) <改>]

- 28 医者は彼に夜更かしを控えるよう忠告した。

- The doctor advised _____ [32] _____ [33] _____ late at night.
① from ② him ③ keep ④ sitting
⑤ to ⑥ up

[樟蔭女子短大]

- 24 I am **thinking of** visiting Canada to **enjoy** skiing in the Rockies.

▶ [24] ⇒ ① [25] ⇒ ⑥ (7-1-2-5-4-6-3)
▶ thinking of の of という前置詞の目的語には、動名詞の visiting を置いてみる。また、enjoy という他動詞は不定詞ではなく動名詞を目的語にとるので、skiing という動名詞を enjoy に続けてみましょう。

- 25 You **never see** the lake **without being** impressed by its beauty.

▶ [26] ⇒ ③ [27] ⇒ ⑤ (2-3-6-5-4-1)
▶ never V₁ without Ving は「V₁ すれば必ず V₂ する」という意味の、動名詞を使った重要表現。without という前置詞の後ろには、being Vpp の形の変動態の動名詞がきていることに特に注意してほしいと思います。

- 26 His **low salary prevents** him **from** marrying her.

▶ [28] ⇒ ① [29] ⇒ ③ (7-5-2-1-4-3-6-8)
▶ prevent ~ (from) Ving は「～が V することを妨げる」という意味の熟語。これとほぼ同じ意味の熟語に、keep ~ from Ving があります。ここでは、「安い給料が、彼が彼女と結婚することを妨げる」と考えて文を並べ替えましょう。

- 27 It is **no use** arguing with Mr. Tanaka about it.

▶ [30] ⇒ ⑥ [31] ⇒ ⑤ (4-1-6-2-5-7-3)
▶ It is no use Ving は「V しても無駄だ」という意味の重要表現。it は形式主語で、動名詞の Ving を指していることにも注意しておくこと。It is no use crying over spilt milk. (覆水盆に返らず) ということわざも頻出です。

- 28 The doctor advised him to **keep** from **sitting** up late at night.

▶ [32] ⇒ ③ [33] ⇒ ④ (2-5-3-1-4-6)
▶ advise ~ to V は「～に V するように忠告する」という意味。そして、その後の keep from Ving は「V するのを控える」という意味の熟語です。もちろん、from という前置詞の後ろの Ving は動名詞です。

分詞

▶ 動詞の形を現在分詞 (Ving) や過去分詞 (Vpp) にすると、まるで形容詞のように使うことができます。これを分詞といいます。分詞を理解するときには、現在分詞には「能動, 進行」の意味があり, 過去分詞には「受動, 完了」の意味があるということが基本になります。

1 「させる」という意味をもつ動詞

問 The final game made me so I could not keep sitting on the seat.

- ① excite ② excited ③ exciting ④ to excite
[東京家政大 (文・家政) <改>]

excite という動詞を「興奮する」という意味で覚えている人も多いのですが、実はこの動詞は「興奮させる」という意味です。**make O C (OをCにする)** のような第5文型のCの部分に空所がある場合には、Oの部分に基づいて「Oがするか、されるか」で考えましょう。
 ここでは「私は興奮させられる」という受動の関係を見抜いて、過去分詞形の② excited を選びましょう。このように、意味を間違えやすい「～させる」という意味の動詞は以下のようにまとめて正確に覚えておきましょう。

<input type="checkbox"/> amuse	▶ 楽しませる	<input type="checkbox"/> interest	▶ 興味を持たせる
<input type="checkbox"/> bore	▶ 退屈させる	<input type="checkbox"/> please	▶ 喜ばせる
<input type="checkbox"/> disappoint	▶ がっかりさせる	<input type="checkbox"/> satisfy	▶ 満足させる
<input type="checkbox"/> excite	▶ 興奮させる	<input type="checkbox"/> surprise	▶ 驚かす
<input type="checkbox"/> exhaust	▶ 疲れさせる	<input type="checkbox"/> tire	▶ 疲れさせる

解答⇒2 (訳: 決勝戦で私はとても興奮してしまって、席に座ったままでいられなかつた。)

2 付帯状況の with

問 My uncle stood with his arms thinking about his family he had left in his hometown.

- ① folding ② fold
 ③ folded ④ having folded
[大阪経大 (経)]

「with 目的語 分詞」の形で「～を…にして」という意味になりますが、このwithの使い方を「付帯状況のwith」といいます。分詞が現在分詞か過去分詞かを決める場合には、withの後ろの**名詞**が「する」という**能動的な意味**なら**現在分詞**、「される」という**受動的な意味**なら**過去分詞**を選びましょう。ここでは、「腕は組まれる」という受動の関係があるので、過去分詞の③ folded が正解。

解答⇒3 (訳: 私のおじは立って腕を組み、自分の故郷に置いてきた家族のことについて考えていた。)

3 have ~ Vpp

問 The poor old woman again.

- ① got robbed her bag ② had her bag stolen
 ③ let her bag to be robbed ④ was stolen her bag
[センター試験 (追)]

have という動詞には、さまざまな使い方がありますが、試験で最もよく問われる使い方は、have ~ V と have ~ Vpp の区別です。**have ~ V (～にVさせる, してもらう)** のときには、目的語(～)と原形動詞(V)の間に「～がVする」という能動の関係が必ずあります。また**have ~ Vpp (～をVさせる, してもらう)** の場合は、目的語と過去分詞の間に必ず「～がVされる」という受動の関係が成り立ちます。ここでは「彼女のバッグが盗まれる」という受動の関係をとらえて、have ~ Vpp の形を使った② had her bag stolen を選びましょう。

解答⇒2 (訳: その気の毒な老女は、またバッグを盗まれた。)

- 7 At the dance party I saw Peggy □ 7 all in red.
 ① dressed ② dress ③ dressing ④ dresses
〔上智短大〕

- 8 When I mentioned her name, I noticed □ 8 .
 ① he smiling ② him smiling
 ③ he to smile ④ him to smile
〔上智短大〕

- 9 The air conditioner makes too much noise. You ought to have it
 ① look ② looking
 ③ looked ④ be looked
〔英検準2級〕

- 10 He was the only person □ 10 in that train accident.
 ① injure ② injured
 ③ injuring ④ being injured
〔北海学園大(経)〕

- 11 Every guest □ 11 is certain to bring a gift.
 ① inviting ② will be invited
 ③ invited ④ has been invited
〔南山短大〕

- 12 The museum is full of important objects □ 12 by questionable
 means.
 ① acquiring ② acquired
 ③ to acquire ④ acquire
〔自白学園女子短大〕

- 7 ダンスパーティーで、私はベギーが全身赤の装いなのを見た。
 □ 7 ⇒ ① dressed
 ▶「～を着ている」という表現は、過去分詞形を使って dressed in ～という形を使います。着用を表す in という前置詞に注意。「彼女は黒い服を着ている」は、She is dressed in black. といいます。

- 8 私が彼女の名前を呼んだとき、私は彼が笑っているのに気づいた。
 □ 8 ⇒ ② him smiling
 ▶ここで、notice という動詞の目的語の him と smiling の間に、「彼が笑っている」という能動的な関係があることに注目しましょう。notice は知覚動詞なので、原形不定詞もとることができます。

- 9 そのエアコンは騒音がとてもひどい。あなたはそれを見てもらうべきだ。
 □ 9 ⇒ ③ looked
 ▶「エアコンが見られる」という受動的な関係をとらえて、過去分詞を使うこと。have ～ Vpp は「～をVしてもらう」という意味。なお、この look at は「検査する」の意味で、examine で言い換えることができます。

- 10 彼はその電車事故だけがをした唯一の人だった。
 □ 10 ⇒ ② injured
 ▶ injure という動詞は、もともと「傷つける」という意味をもちます。ここでは「人は傷つけられる」という受動的な関係があるので、② injured という過去分詞形を選ぶこと。injured 以下が前の名詞 person を修飾しています。

- 11 招待された客は皆、きつと贈り物を持ってくるだろう。
 □ 11 ⇒ ③ invited
 ▶主語の every guest を後ろから修飾する分詞を答えさせる問題。ここでは「客は招待される」という受動の関係があるので、過去分詞の ③ invited が正解になります。このように、まれに1語でも後ろから名詞を修飾する場合があります。

- 12 その美術館は疑わしい手段によって獲得された貴重品で満たされている。
 □ 12 ⇒ ② acquired
 ▶ important objects という名詞を後ろから修飾する分詞を答えさせる問題。ここでは「物品は獲得される」という受動的な関係があるので、過去分詞の ② acquired を選びましょう。

- 13 She looked [13] when she saw her son after 2 years' absence. [13] excited
- 類
① excite
② excited
③ exciting
④ to excite
〔樟蔭女子短大〕

- 14 All you have to do is [14] for dinner tonight. [14] get dressed
- 類
① get to dress
② get dressed
③ get dress
④ get dressing
〔名城大 (商)〕

- 15 In order to keep [15] I try to read as much as possible. [15] informed
- ① inform
② informed
③ informer
④ informs
〔センター試験 (道)〕

- 16 I have to get this homework [16] by next week. [16] done
- ① do
② done
③ doing
④ be done
〔金蘭短大〕

- 17 The waiting room was so noisy that I couldn't hear my name [17]. [17] called
- ① called
② calling
③ call
④ have called
〔英検準2級〕

- 18 Kate speaks English very fast. I've never heard English [18] so quickly. [18] spoken
- ① speak
② speaking
③ spoken
④ to speak
〔センター試験〕

- 13 2年ぶりに息子に会ったとき、彼女は興奮した様子であった。 [13] excited

▶ SVCのCにくる分詞を答えさせる問題。Cに入るものを決定するときには、Sを基準にして考えること。exciteという動詞は「興奮させる」という意味なので、Sheは「興奮させられる」という受動的な関係になります。よって、過去分詞の② excitedが正解。

- 14 あなたは今夜、夕食のために身支度をしさえすればよい。 [14] get dressed

▶ 「着飾る」という表現は、get dressed, dress oneself, または dress up を使います。ここでは② get dressedが正解。もともとは「衣服を着せられた状態になる」という意味です。ちなみに、all ~ have to do is (to) Vは「～はVしさえすればよい」という意味の重要表現。このtoは省略することもできます。

- 15 知識を蓄えるために、私はできるだけたくさん本を読むとしている。 [15] informed

▶ keep Cは「Cのままている」という意味の第2文型(SVC)の構文。不定詞の意味の上での主語は主文の主語ですから、ここではIを基準に、「私は知らされたままでいる」という受動的な関係をとらえて、② informedを選択すること。informは「人に知らせる」という意味の他動詞です。

- 16 私は来週までにこの宿題を仕上げなくてはならない。 [16] done

▶ get O Cは「OをCにする」という第5文型の構文。第5文型のCに空所がある場合、Oを意味上の主語と考えて問題を解くこと。ここでのOはhomeworkで、「宿題は終えられる」という受動的な関係なので、② doneが正解。

- 17 その待合室はとてもうるさかったので、私は私の名前が呼ばれているのが聞こえなかった。 [17] called

▶ 私の名前は「呼ばれる」という受動的な関係であることを見抜いて、過去分詞の① calledを選ぶこと。hear one's name calledは「～の名前が呼ばれるのを聞く」という意味の熟語として覚えておくとうよいでしょう。

- 18 ケイトは英語をとても速く話す。私は英語がそんなに速く話されるのを聞いたことがない。 [18] spoken

▶ 英語は「話される」という受動的な関係を見抜くこと。ここでは、過去分詞の③ spokenが答えとなります。

□ 19 Some people leave their cars with the engines **19** when they go shopping for a few minutes.

- ① run ② to run ③ ran ④ running

[英検準2級]

□ 20 According to the newspaper, the boy was knocked unconscious and

lay on his back with **20**.

- ① his closed eyes ② having his eyes closed
③ closing his eyes ④ his eyes closed

[明星大(理工・物・化)]

■ 問2：次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

□ 21 The mother soothed the **①** disappointing child and then **②** promised to take him **③** on a picnic as soon as it **④** stopped raining.

誤り = **21**

[上智短大]

□ 22 Many buses in Japan have **①** special seats **②** marking “silver seats” for the elderly or **③** physically **④** handicapped persons.

誤り = **22**

[南山短大]

□ 23 Tom's decayed teeth **①** were troubling him, so he went to a dental surgeon **②** to see about having **③** them **④** pull.

誤り = **23**

[長崎大]

□ 19 数分間買い物に行くとき、エンジンをかけっぱなしで車を離れる人がいる。

19 ⇒ **④** running

▶ 付帯状況の with の構文では、with の後の名詞を基準に能動か受動かを見て、後ろに続くのが現在分詞か過去分詞かを決めます。ここでは「エンジンがかかっている」という能動の関係を見抜いて、**④** running を選ぶこと。

□ 20 その新聞によると、その少年は強く打たれて意識不明になり、目を閉じて仰向けに横たわった。

20 ⇒ **④** his eyes closed

▶ 付帯状況の with の後ろには、「名詞＋分詞」の形が続くことができます。分詞が現在分詞か過去分詞かを決めるときは、名詞を基準にして「する」のか「される」のかを考えてみるとよいでしょう。ここでは「彼の目が閉じられている」という受動的な関係があります。③ closing his eyes のように、「with Ving」の形になることはありません。

□ 21 母はがっかりしている子供をなだめ、雨がやんだらすぐにピクニックに連れて行ってあげると約束した。

21 ⇒ **①** disappointing → disappointed

▶ disappoint という動詞は「がっかりさせる」という意味。ここでは「子供はがっかりさせられる」という受動の関係をとらえて、disappointing を disappointed に訂正しましょう。

□ 22 日本では、たぐさんのバスに「シルバーシート」と示された、老人や身体的に障害のある人のための特別席がある。

22 ⇒ **②** marking → marked

▶ 「特別席は印を付けられている」という受動の関係をとらえると、② marking を marked に訂正しなければなりません。mark は「～に印を付ける」という意味の他動詞です。

□ 23 トムは虫歯に苦しんでいたので、歯を抜いてもらうために歯医者に行った。

23 ⇒ **④** pull → pulled

▶ 「have 十目的語」の後ろにくるものが、原形不定詞になるか過去分詞になるかは、目的語が「する」のか「される」のかで考えましょう。ここでは「歯が抜かれる」という受動的な関係をとらえて **④** pull を pulled に訂正すること。なお、see about Ving は「Vするよう取り計らう」という意味の熟語です。

■問3：日本文に合う英文になるように選択肢の語を並べかえ，空欄に入るものを選び。

- 24 これらの道具は雨の中に置きっぱなしにされている。
 These tools [24] _____ the rain.
 ① been ② lying ③ have ④ in
 ⑤ left

〔四天王寺国際仏教大（文）〕

- 25 道路にはほとんど雪が残っていないかった。

- [26] [27] _____
 ① road ② left ③ the ④ there
 ⑤ snow ⑥ was ⑦ on ⑧ little

〔聖学院大〕

- 26 私は帰宅の途中，電車の中で時計を盗まれました。（1語不要）

- [28] [29] _____ in the train on my way home.
 ① watch ② steal ③ I ④ stolen
 ⑤ my ⑥ had

〔田中千代学園大〕

- 27 海外旅行に参加を希望する学生は自由に参加してください。

- Students [30] [31] _____ free to do so.
 ① are ② in ③ abroad ④ participate
 ⑤ to ⑥ travel ⑦ wishing

〔龍谷大（文）〕

- 28 面接で，彼女はヘミングウェイによって書かれた小説を何冊か読んだと答えました。

- At the interview, she answered that [32] _____
 [33] _____
 ① novels ② she ③ read ④ Hemingway
 ⑤ had ⑥ by ⑦ some ⑧ written

〔金蘭短大〕

- 24 These tools have been left lying in the rain.

[24] ⇒ ① [25] ⇒ ② (3-1-5-2-4)
 ▶ leave O C (OをCのままにしておく) の受動態。O be left Cの形にあてはめて並べ換えます。「道具が横たわっている」という能動の関係を見抜くこと。この文を能動態に直すと，They have left these tools lying in the rain. となります。

- 25 There was little snow left on the road.

[26] ⇒ ⑥ [27] ⇒ ② (4-6-8-5-2-7-3-1)
 ▶ snow という名詞を left という過去分詞が後ろから修飾しています。on the roadのように修飾語句が続いて2語以上になる場合には，原則的に分詞は後ろから名詞を修飾することに注意しましょう。

- 26 I had my watch stolen in the train on my way home.

[28] ⇒ ⑥ [29] ⇒ ① (3-6-5-1-4) 不要=② steal
 ▶ ここでは have ~ Vpp (～をVされる) の形にあてはめて並べ換えるといいでしょう。「時計が盗まれる」という受動の関係を正確に見抜くことが大切です。

- 27 Students wishing to participate in travel abroad are free to do so.

[30] ⇒ ⑤ [31] ⇒ ③ (7-5-4-2-6-3-1)
 ▶ 主語の students を wishing という分詞が後ろから修飾し，そのあとで動詞の are が出てくることに注意して並べ換えることが大切。また，participate in ~ (～に参加する)，be free to V (自由にVする) という熟語にも注意しましょう。

- 28 At the interview, she answered that she had read some novels written by Hemingway.

[32] ⇒ ③ [33] ⇒ ⑧ (2-5-3-7-1-8-6-4)
 ▶ some novels という名詞を，後ろから written という分詞が修飾しています。「小説は書かれる」という受動的な関係があるので，ここでは過去分詞の written が使われています。

分詞構文

▶ 動詞を現在分詞や過去分詞に変えて、文頭、文中、文末に置き、「～するのとき、～するとき」のようなさまざまな意味で副詞的に使う用法のことを分詞構文といいますが、ここでは、その分詞構文の基本的な使い方をまず押さえます。

1 分詞構文の基本形

問 in a very difficult situation, the doctor never had any rest.

- ① Work ② Working ③ Worked ④ To work

[センター試験(追)]

これは最も基本的な分詞構文の形です。分詞構文の主語にあたるのは本文の主語の the doctor で、本文の時制と分詞構文の時制は同じ。このようなときには、最も基本的な分詞構文の② Working を選びましょう。

解答⇒2 (訳：ひどく困難な状況で働いていたため、その医者は全く休むことができなかった。)

2 受動分詞構文

問 from a distance, the mountain looks like a dog's head.

- ① Seen ② Seeing ③ See ④ Saw

[英検準2級]

本文の主語の the mountain は、見る方ではなく見られる方です。このように本文の主語が「される」という受動の関係がある場合には、過去分詞の分詞構文(受動分詞構文)を使います。分詞構文が現在分詞になるか過去分詞になるかは、本文の主語を基準に判断しましょう。

解答⇒1 (訳：遠くから見ると、その山は犬の頭のように見える。)

3 独立分詞構文

問 All things , he did unusually well.

- ① being considering ② considered
③ considering ④ were considered

[明治学院大(経-経)]

ここでは、本文の主語と分詞構文の主語が違うので、分詞構文の前にはその主語となる All things が置かれています。このような場合は分詞構文の主語を基準にして、「する」という能動の意味だったら現在分詞、「される」という受動の意味だったら過去分詞というふうを選んでいきましょう。

ここでは「すべての物事は考慮される」という受動の関係を見抜いて、過去分詞形の② considered が正解です。

all things considered のように、熟語化した分詞構文はまとめて覚えておくのが便利です。また熟語化した分詞構文の中には、本来あった主語の we や they が省略されて、本文と主語が一致しないようなものもありますが、問題を解くときには熟語だと割り切って解答しましょう。

解答⇒2 (訳：すべてのことを考慮に入れると、彼はとてもよくやった。)

- | | |
|---|---------------|
| <input type="checkbox"/> all things considered | ▶ すべてを考慮に入れると |
| = all things taken into consideration[account] | |
| <input type="checkbox"/> strictly speaking | ▶ 厳密に言うと |
| <input type="checkbox"/> frankly speaking | ▶ 率直に言うと |
| <input type="checkbox"/> generally speaking | ▶ 一般的に言うと |
| <input type="checkbox"/> talking[speaking] of ~ | ▶ ~と言えば |
| <input type="checkbox"/> weather permitting | ▶ 天気がよければ |
| <input type="checkbox"/> judging from ~ | ▶ ~から判断すると |

■問1：次の英文の空欄に入れるのに最も適当なものを選び。

- 1 1 the bell, the workers knew it was time to start working.
 1 Hearing
 2 Heard
 3 To hear
 4 To have been heard

【東京成徳短大】

- 2 2 at the station, I found the train had already started.

難

- 1 To arrive 2 Arriving 3 Arrived 4 Arrive

【田中千代学園短大】

- 3 3 , David jumped into the river and saved the drowning child.

難

- 1 Good swimmer as he is 2 He could swim very well
 3 He was a good swimmer 4 Being a good swimmer

【東横学園女子短大】

- 4 4 near the station, the hotel is very convenient.

- 1 To be located 2 Located
 3 Locating 4 To be locating

【上智短大】

- 5 5 the river, we put up a tent for the night.

- 1 Reach 2 Reached 3 Reaching 4 To reach

【東京家政大(文)】

- 6 Sam had to stay in France on business for three months, 6 his wife in Japan.

- 1 leaves 2 left
 3 leaving 4 to be left

【英検準2級】

- 1 その鐘を聞いて、労働者たちは仕事が始まる時間だということを知った。

1 ⇒ 1 Hearing

▶ 鐘を聞いたのも労働者が知ったのも同じ時制です。また、「労働者は聞く」という能動の関係があるので、一番基本的な分詞構文 ① Hearing を選びましょう。

- 2 駅に着いたとき、私はその電車がすでに発車していったことがわかった。

2 ⇒ 2 Arriving

▶ 私が気づいたのも、駅に到着したのも同じ時制です。また、「私は到着する」という能動の関係があるので、最も基本的な分詞構文 ② Arriving を選びましょう。

- 3 泳ぎが上手だったので、デイビッドはその川に飛び込み溺れかけた子供を助けた。

3 ⇒ 4 Being a good swimmer

▶ デイビッドが川に飛び込んだのも、泳ぎが上手だったのも同じ時制です。また「デイビッドは泳ぎが上手」という能動の関係をとらえると、答えは ④ Being a good swimmer という最も基本的な分詞構文だとわかります。また、接続詞なしで文と文をつなぐことはできないので、②・③が不可になることにも注意すること。

- 4 駅の近くに位置しているの、そのホテルはとても便利だ。

4 ⇒ 2 Located

▶ locate という動詞は、「(建物などを)置く」という意味です。ここでは本文の主語であるホテルが「駅の近くに置かれる」という受動的な意味をとらえて、② Located を選ぶこと。「そのホテルは駅の近くにある」は、The hotel is located near the station. といいます。

- 5 川に到着して、私たちはテントを張って夜に備えた。

5 ⇒ 3 Reaching

▶ テントを張ったのも川に到着したのも同じ時制です。「私たちが川に着く」という能動的な関係をとらえて ③ Reaching を選ぶこと。この文は、We reached the river, and (we) put up a tent for the night と書き換えることもできます。

- 6 サムは彼の妻を日本に残したまま、仕事で3か月間フランスに滞在しなければならなかった。

6 ⇒ 3 leaving

▶ これは「……した状態で」という意味をもった、付帯状況の意味の分詞構文。この意味の分詞構文は文末に付きます。③ leaving が正解。

- 7 7 where to go, I stayed at home all day long.
 ① Don't know
 ② Not knowing
 ③ Unknowing
 ④ No knowing
〔京都外国語短大〕

- 8 8 in easy English, this paperback would be very good for you.

- ① Written ② Write ③ Writing ④ To write
〔上智短大〕

- 9 9 at that corner, you'll see the college.

- ① If you turn for left
 ② You turning the left
 ③ Turning to left
 ④ Turning left
〔関西外国語短大〕

- 10 Masao, 10 at the news of the earthquake, couldn't utter a word.

- ① shock ② shocking
 ③ shocked ④ having shocked
〔山陽学園短大〕

- 11 11 from a distance, the cactuses look like human beings.

- ① Seen ② Seeing
 ③ To see ④ Having seen
〔南山短大〕

- 12 12 the fire, the firemen urged the crowd to leave; accordingly, they returned to their homes.

- ① For putting out ② Having put out
 ③ Being put out ④ Having been put out

- 7 7 どこに行けばよいのかわからなかったのです。私は1日中家にいました。

□ 7 ⇒ ② Not knowing
 ▶ 分詞構文を否定にする場合には、分詞の直前に否定語の notなどを置きます。ここでは ② Not knowing が正解。

- 8 8 簡単な英語で書かれているので、この文庫本はあなたにとってもよいだろう。

□ 8 ⇒ ① Written
 ▶ 分詞構文が Ving か Vpp かは、主文の主語が「する」のか「される」のかで見抜くことができます。ここでは、「paperbackは書かれる」という受動的な意味をとらえて、① Written が正解。

- 9 9 あの角を左に曲がれば、あなたはその大学が見えるだろう。

□ 9 ⇒ ④ Turning left
 ▶ 「左に曲がる」は、turn left もしくは turn to the left と表現します。ここでは、youが見るのも曲がるのも同じ時制です。「あなたが曲がる」という能動的な意味をとらえて、最も基本的な分詞構文 ④ Turning left を選びましょう。

- 10 地震の知らせに衝撃を受けたマサオは言葉が発することができなかった。

□ 10 ⇒ ③ shocked
 ▶ shock という動詞は、「衝撃を与える」という意味です。ここでは主文の主語のマサオが「衝撃を与えられた」という受動の関係を正確にとらえて、過去分詞の ③ shocked を選ぶこと。

- 11 遠くから見るとそのサボテンは人間のように見える。

□ 11 ⇒ ① Seen
 ▶ 主文の主語のサボテンが「見られる」という受動の関係を正確にとらえて、過去分詞の ① Seen を選びましょう。

- 12 火を消してしまったので、消防隊員はやじうまに帰るように言った。したがって彼らは家へ帰っていった。

□ 12 ⇒ ② Having put out
 ▶ 「消防隊員がやじうまに帰るように言った」のより、「火を消した」のは前のことです。このように主文の時制よりも前のことをいう分詞構文は、having Vpp という形になります。ここでは ② が正解。④ は受動態なので不可です。

- 13 13 well the night before, I felt much better.
- ① Sleeping
② To sleep
③ To have slept
④ Having slept [金城学院大短大部]
- 14 14 All things 14, she was very lucky in the accident.
- ① consider
② considered
③ considering
④ to consider [梅花女子大(文)]
- 15 15 Strictly 15, this is wrong.
- ① spoken
② to speak
③ speaking
④ spoke [明の星女子短大]
- 16 16 his age, the President looks pretty young.
- ① Consider
② Considered
③ Having considered
④ Considering [東京電機大]
- 17 17 Shakespeare, have you ever visited Stratford-upon-Avon?
- ① Speak of
② Speaking of
③ To speak of
④ Spoken of [上智短大]
- 18 18, the simplest explanation is the best.
- ① Being other things equal
② Being equal to other things
③ Other things being equal
④ Other things equal being [聖学院大(政経)]

- 13 前の夜よく寝ていたので、私はずっと気分がよかった。
- 13 ⇒ ④ Having slept
▶ 「私の気分がいい」のよりも、「前の夜よく寝た」のは時制が前のことです。よって、前の時制を表す分詞構文 having Vpp を使った ④ Having slept が正解になります。

- 14 すべてのことを考慮に入れば、彼女は事故のときとても幸運だった。
- 14 ⇒ ② considered
▶ 分詞構文の主語にあたる「すべてのこと」は「考慮される」方だから、受動の意味をもった ② が正解。「すべてのことを考慮に入れば」という日本語の能動的な表現に惑わされないように注意すること。all things considered は、熟語として丸暗記しましょう。

- 15 厳密に言えば、これは間違っている。
- 15 ⇒ ③ speaking
▶ strictly speaking は「厳密に言えば」という意味の熟語。このような熟語では、主語や時制の一致に関しては考える必要はありません。

- 16 年齢の割には、大統領はかなり若く見える。
- 16 ⇒ ④ Considering
▶ considering ～は「～を考慮すれば」という意味です。このような熟語では、主語や時制の一致に関しては考える必要はありません。

- 17 シェイクスピアと言えば、ストラットフォード・アポン・エイヴァンを語れたことがありますか。
- 17 ⇒ ② Speaking of
▶ 「～と言えば」という意味を表現するには、speaking of ～または talking of ～という熟語を使います。これらの熟語表現では、主語や時制を一致させる必要はありません。ここでは ② Speaking of が正解。

- 18 他のものが同じであれば、最もシンプルな説明が一番よい。
- 18 ⇒ ③ Other things being equal
▶ 分詞構文の主語が主文の主語と違う場合には、その主語を分詞構文の直前に置いて表します。ここでは、③ Other things being equal が正解。Other things が分詞 being の意味上の主語となっています。これも熟語として覚えましょう。

□ 19 19 being no bus service in the town, they had to use a taxi.

頻

- ① There ② Having ③ With ④ Because

[同志社大 (神・法)]

□ 20 Having been asked to give a speech at the wedding reception, 20 .

難

- ① Mr. Saito prepared for some notes
② some notes were prepared by Mr. Saito
③ Mr. Saito prepared some notes
④ some notes were prepared for Mr. Saito

[松蔭女学院大]

■ 問2：次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

□ 21 ① Realized that he ② had left his gloves, he ③ returned to the theater ④ for them.

誤り = 21

[山脇学園短大]

□ 22 ① Writing in simple English, this book is ② suitable ③ for ④ beginners.

誤り = 22

[福岡大 (工・薬) <改>]

□ 23 ① Comparing with Americans, ② Japanese people are more likely to go ③ in groups ④ when traveling, even in their own country.

頻

誤り = 23

[同志社大 (文)]

□ 19 その町にはバス便がなかったのです、彼らはタクシーを使わねばならなかった。

19 ⇒ ① There

▶ There 構文を分詞構文にすると、There being ~ (〜があるの) という形になります。これを否定にすると There being no ~ (〜がないの) という形になります。There は主文の主語 they とは異なるので、省略することはできません。

□ 20 結婚披露宴のスピーチを頼まれていたので、斉藤さんはいくつかの原稿を用意した。

20 ⇒ ③ Mr. Saito prepared some notes

▶ 分詞構文の主語は、主文の主語と同じでなければなりません。スピーチを頼まれたのは、当然「覚え書き」ではなく「斉藤さん」です。よって、斉藤さんが主語になっている選択肢を選ばなければなりません。③ が正解。① の prepared for ~ は「〜に備えて準備をした」という意味になるので不可です。

□ 21 手袋を忘れたことに気がついて、彼はそれを取りに劇場に戻った。

21 ⇒ ① Realized → Realizing

▶ 「彼は手袋を忘れたことに気づく」という能動的な関係があるので、受動的意味をもった過去分詞形「Realized」は使うことはできません。ここでは Realized を Realizing に訂正する必要があります。

□ 22 単純な英語で書かれているので、この本は初心者に向いている。

22 ⇒ ① Writing → Written

▶ 主文の主語である this book は「書かれる」方ですから、受動分詞構文を使って、Writing を Written に訂正しなければなりません。

□ 23 アメリカ人と比べて、日本人は自分の国でさえ旅行するときには団体で行きたがる。

23 ⇒ ① Comparing → Compared

▶ 日本人はアメリカ人と「比べる」方ではなく、「比べられる」方です。このような受動の関係があるときには、過去分詞形「Compared」を使います。① Comparing を Compared に訂正すること。④ の when traveling は、「when they are traveling」の they are が省略された形です。

■問3：日本文に合う英文になるように選択肢の語を並べかえ，空欄に入るものを選び。

□24 朝食が済むと，彼女は新聞を読んだ。

- Having _____ [24] _____, _____ [25] _____.
- ① breakfast ② she ③ the ④ newspaper
⑤ finished ⑥ her ⑦ read

〔松坂大（政経）〕

□25 あわてて書かれたので，この手紙には間違いが多い。

- _____ [26] _____ [27] _____, this letter has many mistakes.
- ① haste ② in ③ being ④ great
⑤ written

〔四天王寺国際仏教大〕

□26 毎日同じ食事でうんざりしたので，今夜は外で食事をするつもりだ。（1語不要）

- _____ [28] _____ [29] _____, I'll dine out tonight.
- ① every day ② having ③ tired of ④ being
⑤ food ⑥ the same

〔田中千代学園短大〕

□27 何をすればいいかわからなかったので，私は彼に助言を求めた。（1語不要）

- _____ [30] _____ [31] _____, I asked for his advice.
- ① do ② knowing ③ known ④ not
⑤ to ⑥ what

〔撰南大（工）〕

◆□28 趣味が園芸の女性は，街へ行くときに夫に植物の世話をまかせなければならなかった。

- A woman whose hobby was gardening _____ [32] _____.
- _____ [33] _____.
- ① charge of ② of town ③ had to ④ her husband
⑤ her plants ⑥ leaving ⑦ in ⑧ go out

〔白百合女子大<改>〕

□24 Having finished her breakfast, she read the newspaper.

- [24] ⇒ ⑥ [25] ⇒ ⑦ (5-6-1-2-7-3-4)
▶「朝食が済む」は「新聞を読んだ」よりも前に起こったことです。ここでは完了分詞構文の having Vpp という形を使います。

□25 Being written in great haste, this letter has many mistakes.

- [26] ⇒ ⑤ [27] ⇒ ④ (3-5-2-4-1)
▶手紙は「書かれる」方なので，受動態の分詞構文で書かなければなりません。受動態は be Vpp の形なので，分詞構文にすると being Vpp となりますが，この being は省略することもできます。また，in (great) haste は「(たいへん) 急いで」という意味です。

□26 Tired of having the same food every day, I'll dine out tonight.

- [28] ⇒ ② [29] ⇒ ⑤ (3-2-6-5-1) 不要=④ being
▶この文はもともと，Being tired of having the same food となりますが，分詞構文では being を省略することができるので，過去分詞の tired が先頭に出ています。be tired of ～ (～にうんざりしている) という熟語も覚えておくこと。

□27 Not knowing what to do, I asked for his advice.

- [30] ⇒ ② [31] ⇒ ⑤ (4-2-6-5-1) 不要=③ known
▶分詞構文を否定にする場合には，分詞の直前に not などの否定語を置くことに注意しましょう。

□28 A woman whose hobby was gardening had to go out of town leaving her husband in charge of her plants.

- [32] ⇒ ⑥ [33] ⇒ ① (3-8-2-6-4-7-1-5)
▶まず go out of town までの文を完成してから，leaving 以下の分詞構文の部分を組み合わせてみる。leaving 以下の分詞構文は，副詞的な働きをしています。leave O C は「OをC(のまま)にしておく」の意味で，ここではCの位置に in charge of ～ (～を担当して) という前置詞句を置きます。

■第1問 次の空欄に入れるのに最も適当なものを選び。

- 問 1 There are many books worth [1] .
 ① reading ② to read
 ③ to be read ④ for reading
- 問 2 “What’s your favorite sport?” “ [2] . ”
 ① Playing ski ② Ski
 ③ Skiing ④ To ski
- 問 3 She must have forgotten about [3] her to come to the meeting.
 ① we had asked ② us to ask
 ③ us to have asked ④ our asking
- 問 4 I am used to [4] up late, reading interesting books.
 ① sit ② sitting ③ sat ④ being sat
- 問 5 She was responsible for looking after the little girl [5] blouse.
 ① and wearing long-sleeved
 ② wearing a long-sleeved
 ③ worn long-sleeved
 ④ who wearing a long-sleeved
- 問 6 Bob was reading a novel with all the windows [6] .
 ① having closed ② closed
 ③ closing ④ to close
- 問 7 A: Hey, Bob. Where do you have your car [7] ?
 B: At the car wash next to the shopping mall. They do a great job.
 ① wash ② be washed
 ③ washed ④ washing
- 問 8 We stopped for a moment and watched them [8] the new hospital.
 ① building ② built
 ③ having built ④ to build

問 9 I found my dog [9] under the tree in our yard.

- ① lay ② laying ③ lie ④ lying

問 10 [10] up, I saw a swan flying right over my head.

- ① Looking ② To look
 ③ Looked ④ Being looked

問 11 There [11] no bus service at that time of the day, we had to walk all the way to the station.

- ① being ② was ③ had ④ having

問 12 [12] from the moon, the earth might look like a ball.

- ① Seeing ② To see
 ③ Seen ④ Having seen

問 13 I will come, [13] .

- ① weather is permitting
 ② weather will be permitting
 ③ weather permitting
 ④ weather permits

問 14 [14] all her work an hour ahead of time, she decided to go to the movies early.

- ① In order to finish ② If she finished
 ③ When she finishes ④ Having finished

問 15 I remember my mother [15] me how to cook.

- ① teach ② to teach
 ③ teaching ④ was taught

■第2問 次の英文の下線部のうち、誤った英語表現を含む番号を指摘せよ。

問16 16

I am ① looking ② forward to ③ see ④ you soon.

問17 17

① Situating ② on a hill, his house ③ commands ④ the finest view that I have ⑤ ever seen.

■第3問 次の選択肢を並べかえて英文を完成させ、空欄に入る番号を答えよ。

問18 She had 18

① computer ② difficulty ③ the ④ in
⑤ operating

問19 When you go abroad, you will realize how inconvenient it is 19

in a foreign language.
① make ② not ③ to be ④ able
⑤ yourself ⑥ to ⑦ understood

問20 Books are 20

_____ . (1語不要)
① cheaper ② commodities ③ compared ④ with
⑤ other ⑥ another

▲解答欄の丸数字を鉛筆でマークしなさい。

問題 番号	設問	解答 番号	解 答 用 紙 (マークシート)												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	0			
第1問	問1	1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問2	2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問3	3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問4	4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問5	5	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問6	6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問7	7	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問8	8	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問9	9	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問10	10	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
第2問	問11	11	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問12	12	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問13	13	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問14	14	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問15	15	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
第3問	問16	16	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問17	17	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問18	18	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問19	19	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
問20	20	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	